



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3950 URL <https://www.thepack.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 英昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 下村 郁夫 (TEL) 06(4967)1221  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月3日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	46,617	3.9	3,525	18.4	3,662	16.3	2,999	40.6
2023年12月期中間期	44,878	13.3	2,976	45.6	3,147	36.9	2,133	50.0

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 3,002百万円 (2.0%) 2023年12月期中間期 2,942百万円 (68.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	157.69	157.60
2023年12月期中間期	112.16	112.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	98,723	72,952	73.9
2023年12月期	98,847	71,156	71.9

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 72,927百万円 2023年12月期 71,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	35.00	—	55.00	90.00
2024年12月期	—	52.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	66.00	118.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	3.4	8,100	4.6	8,400	4.2	6,400	13.2	336.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	19,900,000株	2023年12月期	19,900,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	938,817株	2023年12月期	868,136株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	19,024,573株	2023年12月期中間期	19,023,178株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、コスト増の価格転嫁が進むことでデフレ脱却の素地が整い、賃上げや財政政策による消費の回復、底堅い設備投資やインバウンド消費等が景気を下支えしていました。その一方で、エネルギー価格や円安による輸入物価の高騰、さらには賃金の伸びが物価上昇に追いつかない状況が長引くなか、家計の消費活動は慎重化し景気への影響について不透明な状況が続いています。

米国の経済は、良好な雇用・所得環境や株高による資産効果など個人消費を下支えする環境が続いているため、個人消費を中心に底堅い状況が続いています。

中国の経済は、不動産市場は依然として低迷し、悪循環に歯止めをかける景気刺激政策が示されたものの、厳しい雇用・所得環境や消費マインドの冷え込みなどを背景に個人消費は低迷が続いています。

このような状況の中、当社グループは、「進化 — パーパス経営・サステナブル経営のスタート —」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,070億円、営業利益83億円（2025年12月期）の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、積極的な設備投資、品質管理の改善などにより業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は466億17百万円（前年同期比3.9%増加）、営業利益は35億25百万円（前年同期比18.4%増加）、経常利益は36億62百万円（前年同期比16.3%増加）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は29億99百万円（前年同期比40.6%増加）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (紙加工品事業)

当中間連結売上高の71.5%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比30.6%）は、外国人観光客も含めて国内観光需要が盛況なうえに個人消費も穏やかに回復したため、同上売上高は142億79百万円（前年同期比9.9%増加）となりました。

紙器（同上構成比26.0%）は、テイクアウト用の食品向けパッケージの販売や食品を中心とした土産物市場が好調に推移した結果、同上売上高は121億20百万円（前年同期比7.6%増加）となりました。

段ボール（同上構成比12.7%）は、メーカー向けの販売は前年並みに推移したものの、EC市場向けパッケージの仕様変更により、同上売上高は59億26百万円（前年同期比6.6%減少）となりました。

印刷（同上構成比2.2%）は、設備の入替に伴う稼働時間の減少により、同上売上高は9億95百万円（前年同期比12.3%減少）となりました。

以上により、この部門の売上高は333億22百万円（前年同期比5.0%増加）となり、営業利益は31億64百万円（前年同期比16.5%増加）となりました。

#### (化成品事業)

当中間連結売上高の13.6%を占めるこの部門では、紙化の影響により通販や専門店向けの販売が減少しましたが、生産効率の向上に努めた結果、同部門の売上高は63億47百万円（前年同期比4.6%減少）となり、営業利益は4億3百万円（前年同期比39.7%増加）となりました。

#### (その他)

当中間連結売上高の14.9%を占めるこの部門では、専門店向けの縫製品や不織布バッグの販売が堅調に推移したことにより、同部門の売上高は69億47百万円（前年同期比7.1%増加）となり、営業利益は5億19百万円（前年同期比7.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億24百万円減少し、987億23百万円となりました。これは主に「現金及び預金」38億98百万円・「機械装置及び運搬具」8億88百万円の増加、「受取手形及び売掛金」55億69百万円の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ19億19百万円減少し、257億71百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」21億90百万円・「電子記録債務」5億89百万円の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ17億95百万円増加し、729億52百万円となりました。これは主に「利益剰余金」20億83百万円の増加、「その他有価証券評価差額金」3億64百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前中間連結会計期間に比べて44億91百万円(25.3%)増加し、222億10百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上が43億81百万円となり、仕入債務の減少28億46百万円、棚卸資産の増加4億44百万円等があった一方、売上債権の減少57億3百万円、減価償却費10億6百万円等により63億1百万円の収入(前中間連結会計期間は50億66百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入56億円等があった一方、有価証券の取得による支出35億円、有形固定資産の取得による支出19億58百万円、無形固定資産の取得による支出6億35百万円等により97百万円の支出(前中間連結会計期間は54億13百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額10億46百万円、自己株式取得のための預託金の増加6億68百万円、自己株式の取得による支出3億34百万円等により20億84百万円の支出(前中間連結会計期間は7億3百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表しました内容から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,322	20,221
受取手形及び売掛金	24,654	19,084
有価証券	8,100	6,499
商品及び製品	7,038	7,484
仕掛品	1,058	1,147
原材料及び貯蔵品	981	907
その他	936	1,856
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	59,080	57,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,154	8,014
機械装置及び運搬具（純額）	6,443	7,332
工具、器具及び備品（純額）	347	321
土地	10,823	10,823
建設仮勘定	1,632	1,995
有形固定資産合計	27,401	28,488
無形固定資産	2,679	3,290
投資その他の資産		
投資有価証券	8,127	8,014
退職給付に係る資産	385	438
繰延税金資産	106	103
その他	1,116	1,206
貸倒引当金	△51	△4
投資その他の資産合計	9,685	9,758
固定資産合計	39,766	41,537
資産合計	98,847	98,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,890	11,700
電子記録債務	7,264	6,675
1年内返済予定の長期借入金	25	22
未払法人税等	1,397	1,481
賞与引当金	322	320
役員賞与引当金	52	26
その他	3,652	4,557
流動負債合計	26,605	24,782
固定負債		
長期借入金	9	-
退職給付に係る負債	343	334
繰延税金負債	664	609
その他	67	43
固定負債合計	1,085	988
負債合計	27,691	25,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,156	3,161
利益剰余金	64,975	67,059
自己株式	△2,593	△2,868
株主資本合計	68,092	69,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,417	2,052
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	235	611
退職給付に係る調整累計額	369	355
その他の包括利益累計額合計	3,018	3,020
新株予約権	45	25
純資産合計	71,156	72,952
負債純資産合計	98,847	98,723

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)  
 (中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	44,878	46,617
売上原価	33,587	34,719
売上総利益	11,291	11,898
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,001	1,948
給料及び手当	2,208	2,258
役員報酬	265	252
貸倒引当金繰入額	4	88
賞与引当金繰入額	178	172
役員賞与引当金繰入額	19	25
退職給付費用	144	99
減価償却費	256	188
賃借料	1,479	1,460
その他	1,755	1,878
販売費及び一般管理費合計	8,314	8,373
営業利益	2,976	3,525
営業外収益		
受取利息	74	60
受取配当金	57	69
受取賃貸料	20	19
為替差益	14	-
その他	18	11
営業外収益合計	185	160
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸収入原価	2	2
投資事業組合運用損	6	-
為替差損	-	13
自己株式取得費用	-	2
その他	4	3
営業外費用合計	14	23
経常利益	3,147	3,662
特別利益		
投資有価証券売却益	-	681
固定資産売却益	-	56
国庫補助金	49	-
特別利益合計	49	737
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	18	7
固定資産圧縮損	49	-
特別損失合計	67	18
税金等調整前中間純利益	3,129	4,381
法人税、住民税及び事業税	981	1,290
法人税等調整額	14	91
法人税等合計	995	1,381
中間純利益	2,133	2,999
親会社株主に帰属する中間純利益	2,133	2,999

## (中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	2,133	2,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	623	△364
繰延ヘッジ損益	6	3
為替換算調整勘定	183	376
退職給付に係る調整額	△4	△13
その他の包括利益合計	808	2
中間包括利益	2,942	3,002
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,942	3,002

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,129	4,381
減価償却費	1,014	1,006
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△42
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23	△26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49	△29
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△53
受取利息及び受取配当金	△131	△129
支払利息	1	1
投資事業組合運用損益 (△は益)	6	△0
固定資産売却損益 (△は益)	-	△45
国庫補助金	△49	-
固定資産除却損	18	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△681
固定資産圧縮損	49	-
売上債権の増減額 (△は増加)	5,566	5,703
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△738	△444
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,857	△2,846
その他	162	584
小計	6,143	7,383
利息及び配当金の受取額	132	137
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,208	△1,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,066	6,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△6,000	△3,500
有価証券の売却による収入	6,500	5,600
有形固定資産の取得による支出	△4,351	△1,958
有形固定資産の売却による収入	-	88
無形固定資産の取得による支出	△1,465	△635
投資有価証券の取得による支出	△18	△519
投資有価証券の売却による収入	6	802
貸付金の回収による収入	28	35
敷金及び保証金の差入による支出	△200	△16
国庫補助金による収入	49	-
その他	36	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,413	△97
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△12	△12
配当金の支払額	△664	△1,046
自己株式の取得による支出	△0	△334
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	-	△668
その他	△26	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△703	△2,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△933	4,398
現金及び現金同等物の期首残高	18,653	17,812
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,719	22,210

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式89,400株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が331百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が2,868百万円となっております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理しております。

なお、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間連結会計期間末日満期手形等が、中間連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	257百万円	249百万円
支払手形	103百万円	80百万円
電子記録債務	226百万円	190百万円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	16,729百万円	20,221百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△10百万円	△10百万円
取得日から3か月以内に 償還期限の到来する有価証券	1,000百万円	1,999百万円
現金及び現金同等物	17,719百万円	22,210百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	12,993	—	12,993	—	12,993	—	12,993
紙器	11,262	—	11,262	—	11,262	—	11,262
段ボール	6,343	—	6,343	—	6,343	—	6,343
印刷	1,135	—	1,135	—	1,135	—	1,135
化成品パッケージ	—	6,654	6,654	—	6,654	—	6,654
その他	—	—	—	6,489	6,489	—	6,489
顧客との契約から 生じる収益	31,734	6,654	38,389	6,489	44,878	—	44,878
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	31,734	6,654	38,389	6,489	44,878	—	44,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,734	6,654	38,389	6,489	44,878	—	44,878
セグメント利益	2,715	288	3,004	485	3,490	△513	2,976

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△513百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去6百万円及び全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	14,279	-	14,279	-	14,279	-	14,279
紙器	12,120	-	12,120	-	12,120	-	12,120
段ボール	5,926	-	5,926	-	5,926	-	5,926
印刷	995	-	995	-	995	-	995
化成品パッケージ	-	6,347	6,347	-	6,347	-	6,347
その他	-	-	-	6,947	6,947	-	6,947
顧客との契約から 生じる収益	33,322	6,347	39,669	6,947	46,617	-	46,617
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	33,322	6,347	39,669	6,947	46,617	-	46,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	33,322	6,347	39,669	6,947	46,617	-	46,617
セグメント利益	3,164	403	3,568	519	4,088	△562	3,525

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△562百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去6百万円及び全社費用△569百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。